

第 2 期

湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン 事業検証（令和 5 年度実績）

○基本目標 1

湯河原町にしごとをつくり、町内で就労できるようにする

○基本目標 2

湯河原町への新しいひとの流れをつくる

○基本目標 3

結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる

○基本目標 4

誰もが活躍できるまちづくりを進める

事業検証シート

まち・ひと・しごと創生を実現するため、各事業の KPI の達成度等により計画の進捗状況を客観的に点検・評価し、その後の取組みの改善につなげていくため、各事業の前年度の進捗状況等をまとめたものです。

第2期湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン 掲載事業一覧

基本目標1 湯河原町にしごとをつくり、町内で就労できるようにする			
1-1 起業支援・企業誘致の推進			
No.	項目	総合評価	担当課
1	サテライトオフィス等の誘致	○	地域政策課／観光課
2	創業支援セミナーの開催	○	観光課
1-2 地域産業の活性化			
1	駅周辺(商店街等)の活性化	○	観光課／地域政策課
2	ゆがわら認定産品制度	○	観光課
3	体験型農業事業の拡充	○	農林水産課
4	農林水産業の活性化	○	農林水産課
1-3 雇用支援と人材育成			
1	雇用確保支援	○	地域政策課／観光課
2	インターンシップ支援	△	地域政策課／観光課／農林水産課
3	郷土愛を育む学習活動	○	学校教育課／社会教育課／こども支援課

基本目標2 湯河原町への新しいひとの流れをつくる			
2-1 関係人口の創出・拡大			
No.	項目	総合評価	担当課
1	ロケツーリズムの推進	○	観光課
2	万葉公園・周辺地区まちづくり	○	観光課
3	インバウンドの推進	○	観光課／地域政策課
4	町民向けセミナー・観光ツアーの開催	○	観光課
5	魅力ある地域資源の活用	○	観光課
6	文化と観光による地域再生	○	美術館
7	スポーツイベントの推進	○	社会教育課／地域政策課／観光課
8	スポーツ施設の整備	○	社会教育課／まちづくり課
2-2 移住・定住の促進			
1	湯河原町への移住PR	○	地域政策課
2	かながわ県西空き家バンクポータルサイトの活用	○	地域政策課
3	お試し移住の促進	△	地域政策課
4	休耕地の利活用	○	農林水産課
5	移住・定住者への補助	○	地域政策課
2-3 情報発信の強化			
1	湯河原温泉公式ホームページの活用	○	観光課
2	合宿等の誘致に向けた情報発信	△	地域政策課／観光課／農林水産課
3	多様な媒体による情報発信	○	秘書広報室／観光課／デジタル推進室

※総合評価:◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

基本目標3 結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる			
3-1 結婚生活応援			
No.	項目	総合評価	担当課
1	結婚祝い金の支給	○	住民課
3-2 出産環境の充実			
1	安心して子どもを産める環境の整備	○	保健センター／消防本部
2	妊娠、出産へ向けた支援体制	○	保健センター／こども支援課
3	切れ目のない財政支援	○	こども支援課／保健センター／学校教育課
3-3 ゆがわらっこ育ての支援			
1	ファミリーサポートセンターの活用促進	○	こども支援課
2	利用しやすい保育所の運営	○	こども支援課
3	教育環境の整備	○	学校教育課
4	学童保育所や子ども教室の活用	○	社会教育課

基本目標4 誰もが活躍できるまちづくりを進める			
4-1 多世代交流・地域コミュニティ活動の推進			
No.	項目	総合評価	担当課
1	多世代交流による若者の人口減少抑制	○	こども支援課／地域政策課／介護課
2	子どもフォーラムの開催	○	学校教育課
3	外国人住民との交流推進	○	地域政策課
4-2 健康長寿社会の実現			
1	「未病を改善する」取組の推進	○	地域政策課／保健センター／介護課
2	介護予防サポーターの育成	○	介護課
3	趣味、サークル活動の推進	○	介護課／社会福祉課
4	シルバー人材センターの活用	○	介護課
5	交通不便地域の解消	○	地域政策課／介護課／社会福祉課
4-3 安心・安全な暮らしの確保			
1	地域会館を活用した遊び場づくり	○	社会教育課／社会福祉課
2	地域防災力の強化	○	地域政策課／消防本部

	◎	○	△	×	計
基本目標1	0	8	1	0	9
基本目標2	0	14	2	0	16
基本目標3	0	8	0	0	8
基本目標4	0	10	0	0	10
計	0	40	3	0	43

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 1 1-1 (1)	サテライトオフィス等の誘致	担当課
概要	古民家や廃業施設を利用した事業所の誘致、複合商業施設や娯楽施設の誘致及びテレワークを推進しサテライトオフィスなどの企業誘致を実施する。	地域政策課 観光課

進捗状況	KPI	誘致事業所数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	0 件
			目標値 令和6年度（2024）	5 件

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値（件）	0	0	1	2	3	5
実績値（件）	0	0	0	0	0	
目標達成率	0%	0%	0%	0%	0%	
KPI評価	×	×	×	×	×	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・駅前交流拠点において多様な活動ができるよう、インターネット環境等を整備することで、ワーキングスペースとしての活用も可能となった。
分析 Check	・県内において、行政が主体となって実施している事例、成功と言える事例が少ない中で、地域の特性に合った整備の検討が必要。
今後の方向性 Action	・企業やフリーランスを含む小規模事業者などの多様な働き方に対するニーズを調査し、働き方のスタイルに合わせた環境や空間づくりを研究する。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 1 1-1 (2)	創業支援セミナーの開催	担当課
概要	商工会などと連携し、町内での創業を目指す方に対し、創業に必要な基礎知識などを習得するためのセミナーを開催する。	観光課

進捗状況	KPI	セミナー参加者数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	19人
			目標値 令和6年度(2024)	50人
	進捗状況 80 70 60 50 40 30 20 10 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(人) 目標値(人)			

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	50	50	50	50	50	50
実績値(人)	14	29	19	64	73	
目標達成率	28%	58%	38%	128%	146%	
KPI評価	△	△	△	◎	◎	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・創業支援セミナーを全6回開催した(のべ参加者73名) ・会場に來れない参加者はオンラインで参加した ・セミナー終了後、開業に向けて伴走支援を実施した(2社)
分析 Check	・連続の創業支援セミナーを6回以上に、チラシやHPなど広報的な内容など多くの事業者が興味のある単発セミナーを2回開催し、対昨年比で参加者数が増加した。
今後の方向性 Action	・令和6年度以降も引き続き創業支援セミナーを実施し、町内での創業意欲の向上を図る。 ・産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」の策定、認定を受ける必要がある。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 1 1-2 (1)	駅周辺（商店街等）の活性化	担当課
概要	関係団体と連携して、湯河原駅周辺の商店街などを中心とする空き店舗を活用した新規開業支援、地場産品直売所の設置などによる活性化を促進する。	観光課 地域政策課

進捗状況	KPI	駅前明店街での新規開業店舗数（平成27年度からの累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018） 目標値 令和6年度（2024）	10 件
				15 件
18 16 14 12 10 8 6 4 2 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(件) 目標値(件)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(件)	5	5	5	5	5	15
実績値(件)	12	12	13	16	18	
目標達成率	240%	240%	260%	320%	360%	
KPI評価	◎	◎	◎	◎	◎	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・飲食店2店舗が新規オープンした ・「ぶらん市」を3回開催した。 ・湯河原梅林「梅の宴」開催期に、「入園料キャッシュバック事業」を実施し、駅周辺商店街の活性化を図った。（期間 2月3日～3月10日、チラシ配布は2月23日まで、参加店舗50件、取扱件数 2,294件） ・町商工会が主催しているみかんサミットを支援し、駅前明店街通りに町内外の人を多く呼ぶことができた。（みかんサミットと「ぶらん市」の合同開催、人気キャラクターのショーなど） ・駅前交流拠点のリノベーション工事を行い、子どもからお年寄り、町内外の人、移住希望者・先輩移住者など様々な人が集うことができる場所づくりを行った。また、コミュニティスペースとしての活用も行い、各種イベントなどを開催することができた。
分析 Check	・「入園料キャッシュバック事業」は町内を周遊し消費が生まれる取組みであり、駅周辺及び徒歩圏内の店舗での消費が約8割であったが、温泉場商店会や中央商店会での消費も一定数あり、町内の周遊に効果があった。 ・駅前に移住相談やコミュニティスペースとして活用できる拠点を開設し、新たな人の流れをつくり駅周辺の賑わいを創出することで、新規開業事業所の増加にもつながると考える。 ・駅前交流拠点が案内所としての役割も果たし、商店街の活性化を推進する。
今後の方向性 Action	・駅周辺の活性化が進められていく中、今後は商店街の回遊・滞留時間増加へ寄与する取組みをしていく。 ・シャッター街化している通りに新しい店舗を出店しやすい環境を整える。 ・駅前交流拠点での取り組みを町外だけでなく町内の方にも情報発信することで、利用を促進する。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 1 1-2 (2)	ゆがわら認定産品制度	担当課
概要	農林水産物や加工品などの特産品を「made in ゆがわら」として認定し、町内での認知度をさらに高めるとともに、町外への情報発信を行っていく。	観光課

進捗状況	KPI	認定品の拡充（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 品目
			目標値 令和6年度（2024）	30 品目
	実績値（品目） 目標値（品目）			

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値（品目）	5	10	15	20	20	30
実績値（品目）	7	16	16	25	25	
目標達成率	140.00%	160.00%	106.67%	125%	125%	
KPI評価	◎	◎	◎	◎	◎	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・平成30年度に7品目を認定（令和2年度に廃業1件） ・令和2年度に10品目を認定 ・令和4年度に9品目を認定 ・「ふるさと納税」の基準を満たしている認定品を返礼品として登録した。
分析 Check	・認定審査委員会において活発な意見交換ができています。 ・認定基準の一部変更を行い、今まで以上に幅広い分野から募集が可能となった。
今後の方向性 Action	・さらに幅広い分野で認定をしていく。 ・観光キャラバンなどを活用し、町外に向けてさらに周知を図っていく。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 1 1-2 (3)	体験型農業事業の拡充	担当課
概要	みかんの木のオーナー制度だけでなく、中晩柑、キウイフルーツ、ブルーベリーなど町内で栽培される農産物においても農業者と実現可能か検討していく。	農林水産課

進捗状況	KPI	農産物オーナー制度（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	1 件
			目標値 令和6年度（2024）	5 件
（2019） （2020） （2021） （2022） （2023） （2024） 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■ 実績値（件） ◆ 目標値（件）				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値（件）	5	5	5	5	5	5
実績値（件）	1	1	1	1	1	
目標達成率	20%	20%	20%	20%	20%	
KPI評価	○	○	○	○	○	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未達、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・門川生産組合主体で「みかんの木のオーナー制度」を実施し、35世帯が利用している。
分析 Check	・農家は高齢化、後継者不足が進んでおり、新たな事業を行える事業者がいない。
今後の方向性 Action	・オーナー制度を実施している団体へは引き続き支援を行う。 ・農業協同組合などと実現の可能性を検討する必要がある。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 1 1-2 (4)	農林水産業の活性化	担当課
概要	黒潮の影響を受けた豊かな漁場と温暖な気候に恵まれた環境を観光業だけでなく、稼げる農業・漁業を目指し、農林水産業の活性化を図る取組を検討する。	農林水産課

進捗状況	KPI	1次産業就労者数（累計）	基準値（開始時） 平成27年度（2015）	359人
			目標値 令和6年度（2024）	400人
進捗状況 500 400 300 200 100 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(人) 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	400	400	400	400	400	400
実績値(人)	359	359	359	359	310	
目標達成率	90	90%	90%	90%	80%	
KPI評価	○	○	○	○	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・果樹等の高品質化と安定供給や鳥獣被害の防止を図るため、苗木や資材の購入に対し補助を行った。 ・原油価格及び物価高騰により経済的な影響を受けている農林漁業者等に対し、農業等原油価格高騰対策支援金を交付した。 ・漁業施設の維持管理や調査を行い、漁業の振興を図るため、漁業組合に対し補助を行った。
分析 Check	・農業、漁業共に卸売価格が低く苦慮している。インターネット販売等の新たな販路が必要と思われる。
今後の方向性 Action	・町で行っている補助については継続していく。 ・新規就農者に関しては、農業委員会と協力しながらサポートしていく必要がある。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 1 1-3 (1)	雇用確保支援	担当課
概要	町内の小規模な事業を含めた雇用希望企業の情報をとりまとめ、雇用確保支援専用のHPを構築、情報発信を行う。	地域政策課 観光課

進捗状況

K P I	掲載企業数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	0 件
		目標値 令和 6 年度（2024）	30 件

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値(件)		3	11	25	35	
目標値(件)	5	10	15	20	25	30

■ 実績値(件) ◆ 目標値(件)

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(件)	5	10	15	20	25	30
実績値(件)	0	3	11	25	35	
目標達成率	0%	30%	73%	125%	140%	
KPI評価	×	△	○	◎	◎	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	- 令和5年度掲載記事登録企業数 - 登録企業数 10件（令和4年度 14件） - 申込み件数 25件（令和4年度 26件） - 閲覧数 8,656件（令和4年度 8,575件）
分析 Check	- 町内事業所に対する求人サイトの周知にあたっては、商工会と協力しながら定期的にチラシの配布などを行うことで、事業所が求人を出したいタイミングと合致させることにより、昨年と同程度の申込み件数となった。 - 求人サイトに関心を持った事業所が申込み申請までで留まることなく登録まで至るよう、登録方法等について委託業者による個別支援を行ったことも増加の要因となった。 - 登録件数が増加することで、町内事業者間でも口コミで広まるなど好循環が生まれた。
今後の方向性 Action	事業所接触回数を増やすことにより、事業所側の事業認識を高める効果を狙う。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 1 1-3 (2)	インターンシップ支援	担当課
概要	旅館・小売店舗・卸売りなどの第3次産業及び農業・漁業の第1次産業において、就労に必要な知識を習得するためのインターンシップ受け入れが可能な事業所などを取りまとめ、情報を公開するだけでなく、積極的に高校・専門学校・大学などへの説明・売り込みを行う。	地域政策課 観光課 農林水産課

進捗状況	K P I	受入者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）		--- 人																						
			目標値 令和6年度（2024）		50 人																						
	<table><thead><tr><th>年次</th><th>実績値(件)</th><th>目標値(件)</th></tr></thead><tbody><tr><td>(2019) 令和元年度</td><td>0</td><td>50</td></tr><tr><td>(2020) 令和2年度</td><td>0</td><td>50</td></tr><tr><td>(2021) 令和3年度</td><td>0</td><td>50</td></tr><tr><td>(2022) 令和4年度</td><td>0</td><td>50</td></tr><tr><td>(2023) 令和5年度</td><td>0</td><td>50</td></tr><tr><td>(2024) 令和6年度</td><td>0</td><td>50</td></tr></tbody></table>							年次	実績値(件)	目標値(件)	(2019) 令和元年度	0	50	(2020) 令和2年度	0	50	(2021) 令和3年度	0	50	(2022) 令和4年度	0	50	(2023) 令和5年度	0	50	(2024) 令和6年度	0
年次	実績値(件)	目標値(件)																									
(2019) 令和元年度	0	50																									
(2020) 令和2年度	0	50																									
(2021) 令和3年度	0	50																									
(2022) 令和4年度	0	50																									
(2023) 令和5年度	0	50																									
(2024) 令和6年度	0	50																									

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値（件）	50	50	50	50	50	50
実績値（件）	0	0	0	0	0	
目標達成率	0%	0%	0%	0%	0%	
KPI評価	○	○	×	×	×	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・ インターンシップを受入れることができていない。
分析 Check	・ 深刻な農業者の高齢化と後継者不足により、受け入れ農家が見つげづらい。
今後の方向性 Action	・ 短期インターンシップ（就業体験）を検討する。 ・ 農業者団体や農業委員会などとの検討が必要である。

総合戦略会議 委員意見	農業と宿泊を組み合わせた農泊といった取組みができていったら良い。
----------------	----------------------------------

総合評価	△	取組の見直し
------	---	--------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 1 1-3 (3)	郷土愛を育む学習活動	担当課
概要	保育園や幼稚園、小中学校などにおいて湯河原らしさのあるカリキュラムや体験活動を行い、郷土愛を育む教育を推進することで、将来的に子どもたちが湯河原町へ戻ってくるサイクルを創出する。	学校教育課 社会教育課 こども支援課

進捗状況	KPI	中学生の職業体験教育の受入企業数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	47件
			目標値 令和6年度(2024)	50件
60 50 40 30 20 10 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■実績値(件) ◆目標値(件)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(件)	47	47	47	49	49	50
実績値(件)	41	0	0	0	31	
目標達成率	87%	0%	0%	0%	63%	
KPI評価	△	×	×	×	△	

※KPI評価: ◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・中学校の職場体験については、令和2年度から4年度まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっていたが、令和5年度は、4年ぶりに実施することができた。 - 参加者: 中学2年生126名 - 実施職種: 医療・銀行・土木・福祉・スポーツ関係・飲食店・宿泊施設・美容関係・保育・小学校・図書館・美術館・消防本部 ・小学校においては、稚鮎の放流、茶摘み、温泉入浴、ミカン狩りの体験や、福浦漁港、真鶴道路の施設見学のほか、遠足行事として幕山や吉浜海岸を訪れることで、地域の特色を知るきっかけをつくり、郷土への親しみを育むことができた。 ・幼稚園においては、美術館、図書館等の町立の施設見学を行うほか、東台福浦小学校の児童との交流の中でミカン狩り体験を行うなど、幅広い年代と交流する機会を設けている。 ・土にふれあう園児のつどい - 参加園児数 令和5年度 苗付け82名、収穫80名 延人数162名
分析 Check	・中学校の職場体験は、4年ぶりに実施することができた。今後は、目標値の企業数を目指し継続実施したい。 ・小学校の校外学習については、郷土への関心を持つきっかけを作るとともに、児童生徒の体力向上に繋がっている。各地域の特色を活かした体験学習を実施しているが、町内3小学校で偏りなく実施ができるよう検討したい。 ・幼稚園では、町立保育園の児童とともに、さつまいもの苗付け及び収穫等を体験することで、子どもたちに土のぬくもりや収穫の楽しさを感じてもらおうなど、食育の一環として継続実施していきたい。
今後の方向性 Action	継続して実施する

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価: ◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標2 2-1(1)	ロケツーリズムの推進	担当課
概要	ロケ地の誘致情報を一元化しロケツーリズムを推進する。それにより、ロケ場所が聖地となり、最初は観光で訪れていた方が、町内を回遊するうちに湯河原のファンとなる関係人口を増やし、定住を決断することを目指す。	観光課

進捗状況	KPI	ワンストップ窓口を経由して町内で撮影されたコンテンツ（ドラマ、アニメ、ネット配信等）（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	---
			目標値 令和6年度（2024）	150件

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値（件）	-	10	45	80	115	150
実績値（件）	-	22	59	99	78	
目標達成率	-	220%	131%	124%	68%	
KPI評価	-	◎	◎	◎	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・ロケツーリズム協議会に参画し、ロケ誘致のセミナーや制作者とのマッチングに参加したほか、ロケ情報雑誌「ロケーションジャパン」にも継続的に取り上げていただき、業界での知名度を高め、制作者にロケ誘致に積極的である姿勢をアピールしてきた。 ・情報番組で取り上げられた商店において、遠方からの観光客などが多く来店され、テレビで放映された商品を購入されるなどの経済効果があった。
分析 Check	・情報番組は即効性があり、放送後に取り上げられた飲食店にお客が訪れるなど、一定の効果が出ている。 ・出演者が町内の飲食店などをSNSで取り上げ、フォロワーが反応するなど、波及的な効果が出ている。
今後の方向性 Action	・引き続きロケツーリズム協議会に参画し、ロケ誘致に取り組んでいく。 ・エキストラやロケ地登録を推進し、より一層町民を巻き込んでいく。 ・ロケ地となった商店等におけるロケ実績を有効利用することを推進 ・ロケ実績を見える化させ、町民についてはシビックプライド（郷土愛）の醸成を図り、観光客については、聖地巡礼などに繋げていく。

総合戦略会議 委員意見	行政だけでなく、経済三団体等を通じて湯河原を知ってもらう取組みをやっていかないといけない。
----------------	---

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-1 (2)	万葉公園・周辺地区まちづくり	担当課
概要	コンセプト「湯河原温泉場の屋外リビング&ガーデン」に基づき、リニューアルされた万葉公園を湯河原温泉の玄関口及び滞在の拠点にし、温泉場エリアに魅力的な滞在の核をつくる。	観光課

進捗状況	KPI	万葉公園湯河原惣湯（玄関テラス）利用者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018） 目標値 令和6年度（2024）	--- 人
				120,000 人
140,000 120,000 100,000 80,000 60,000 40,000 20,000 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■実績値(人) ◆目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	-	-	35,000	60,000	85,000	120,000
実績値(人)	-	-	46,125	51,531	46,119	
目標達成率	-	-	132%	86%	54%	
KPI評価	-	-	◎	△	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和4年度に引き続き、まち歩きイベント「湯探歩」に湯河原惣湯も参加。偶数月の第一土曜・日曜日に温泉場エリアの旅館・店舗等が来客用にそれぞれ特別な企画、景品等を用意して実施。
分析 Check	・実績値の把握は、万葉公園湯河原惣湯の月次報告によるもの。 ・令和4年度の実績と比べて推計で5000人の減となっている。
今後の方向性 Action	・民間団体と連携しながら、町内業者が出店する集客イベントの強化を図る

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標2 2-1 (3)	インバウンドの推進	担当課
概要	湯河原町を訪れる外国人観光客の誘客を促進するため、外国語でのおもてなしレベルの向上を図るとともに、湯河原町の自然や文化などの資源を活用したPRや海外都市との経済交流、民間団体との連携、SNSを活用した英語での観光情報の発信などにより、インバウンドを促進する。	観光課 地域政策課

進捗状況	KPI	外国人観光客数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	---
			目標値 令和6年度(2024)	15,000人
16,000 14,000 12,000 10,000 8,000 6,000 4,000 2,000 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(人) 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	5,000	7,000	9,000	11,000	13,000	15,000
実績値(人)	3,500	750	50	500	15,230	
目標達成率	70%	11%	1%	5%	117%	
KPI評価	○	△	△	△	◎	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・台湾向けプロモーションとして、令和5年10月19日に高雄商談会及び10月20日に日本の観光・物産博2023が開催され、両日ともに湯河原英字パンフレット等を用いて旅行会社に対し湯河原の魅力をPRした。 【台湾旅行会社参加数】 10月19日：43団体、10月20日：38団体 ・Facebookにファンページを開設し、台湾翻訳した内容を情報発信した。 ・市内の事業者向けのおもてなし英会話講座を3回実施した。 ・海外駐在員によるレポートを大韓民国・忠州市が3回、イタリア・ティヴォリ市が1回、オーストラリア・ポートスティーブンス市が3回更新。 ・イタリア・ティヴォリ市で開催される「食とワインのフェスティバル」に参加の要請を受け、湯河原町から日本食のシェフを派遣した。 ・イタリア・ティヴォリ市から派遣されるイタリアンのシェフを受け入れ、湯河原町民へ本場イタリアンを紹介し、食を通じた文化交流を行ったほか、ティヴォリ市民29人の受け入れを行った。 ・オーストラリア・ポートスティーブンス市から野鳥観察の訪問団を受け入れ、野鳥の観察やウェルカムパーティーなどを行った。
分析 Check	・台湾向けプロモーションとして、ノベルティや翻訳したパンフレットを充実させる必要がある。 ・Facebookにファンページにおける情報発信頻度を向上させ内容の充実を図る必要がある。 ・実績値の把握は、神奈川県の入込観光客調査や日本政府観光局(JNTO)の調査結果公表後に集計する。 ・コロナ禍からの回復により、交流が徐々に再開できた中で、インバウンド受け入れ体制の強み弱みを分析することができた。
今後の方向性 Action	・民間団体と連携をしながら、受け入れ態勢の拡充を図る。

総合戦略会議 委員意見	インバウンドを拾うルートを見定めていかないといけない。
----------------	-----------------------------

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-1 (4)	町民向けセミナー・観光ツアーの開催	担当課
概要	観光客に湯河原町の魅力を知っていただくためには町民がその魅力を理解しなければならない。そこで、町民向けセミナーや観光ツアーを実施し、湯河原町の観光資源などの情報共有を図る。	観光課

進捗状況	KPI	参加者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	---	人
			目標値 令和6年度（2024）	300	人
	350 300 250 200 150 100 50 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■ 実績値(人) ◆ 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	-	-	50	100	200	300
実績値(人)	-	-	149	286	95	
目標達成率	-	-	298%	286%	48%	
KPI評価	-	-	◎	◎	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・ ロケツーリズムによる地域振興セミナーを3回実施、参加者計92名 ・ 5月23日・24日に映画やドラマの制作者向けにロケハンツアーを実施し、町内の施設の視察やロケ誘致を実施した。
分析 Check	・ ロケツーリズム地域振興セミナーにおいて、観光関連事業者や観光ボランティアなどが参加し、オール湯河原でのロケ受け入れ体制の充実を図った。 ・ ロケハンツアーを通じて、制作会社と町内の商店等が直接意見交換することにより、ロケツーリズムへの理解を深めた。
今後の方向性 Action	・ 引き続き、セミナーや観光ツアーを開催し、オール湯河原で観光客を受け入れる体制の構築を目指す。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-1 (5)	魅力ある地域資源の活用	担当課
概要	地域に根付いた歴史・文化的な資源を活用し、広く情報発信することで訪れたい、関わりたいまちづくりを推進し、湯河原町の活性化を図る。	観光課

進捗状況	KPI	観光客数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	365 万人
			目標値 令和6年度(2024)	430 万人
500 400 300 200 100 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■実績値(万人) ◆目標値(万人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(万人)	380	420	420	430	430	430
実績値(万人)	410	360	350	380	391	
目標達成率	108%	86%	83%	88%	91%	
KPI評価	◎	△	△	△	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	- 湯河原海岸の呼称を吉浜海岸に統一した。呼称を吉浜海岸に統一することで、より多くの方に湯河原の海及び吉浜の魅力を伝えいく。 - コロナ禍前の状態に戻しやっさまつりを実施(神輿団体の参加)
分析 Check	アフターコロナにおいて、延観光客数が前年度対比約11万人の増となったが、旅行者の傾向が大人数による旅行の割合が減少傾向にあり、少人数や一人旅の割合が増加傾向にあるため、観光客の動向やニーズを捉えた施策が必要。
今後の方向性 Action	- 湯河原町にゆかりのある船越英一郎氏、小山みつな氏を観光大使に、地域に根付いた歴史・文化的な資源を広く発信していく。 - 星ヶ山公園の放棄された茶園を活用し、コキアの郷を整備することで、新たな期間イベントを実施していく。

総合戦略会議 委員意見	コキアの里は、毎年植える必要があり、成功に確実性がない厳しさがあるので、そのあたりを考慮してもらいたい。 地域資源をもっと説明、紹介した方が良いと思う。
----------------	---

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-1 (6)	文化と観光による地域再生	担当課
概要	「町立湯河原美術館」を温泉場エリアの観光拠点の1つとして先駆的な施設へと昇華させるため、館内に整備した見えるアトリエやカフェを活用し、美術館を起点にした回遊を生み出す。	社会教育課 (美術館)

進捗状況	KPI	来館者数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	20,989 人
			目標値 令和6年度(2024)	25,000 人
30,000 25,000 20,000 15,000 10,000 5,000 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(人) 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000	25,000
実績値(人)	20,609	12,932	15,912	18,712	19,101	
目標達成率	103%	62%	72%	81%	80%	
KPI評価	○	△	△	△	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・開館25周年記念の特別展として、「対照の妙 牛田雞村(けいそん)展」、平松礼二館においても特別企画展「季節の彩り～湯河原の四季 湯河原旬彩シリーズ」を開催した。 ・地元ゆかりの作家を中心に現代作家展を開催した。 ・町民の文化振興と地域の活性化の拠点として整備された町立湯河原美術館の開館25周年に当たり、美術館のこれまでの歩みを検証し、記録誌を作成した。
分析 Check	・来館者数は、令和4年度と比較して389人の増となり、ここ数年、年々増加傾向である。集客効果の要因は、特別展の開催や、ミュージアムカフェイベントを実施しているためと思われる。
今後の方向性 Action	・魅力的な展覧会を企画し、来館者数の増を図る。また、付帯施設として、庭園、カフェ、ミュージアムショップの運営についても、引き続き、来館者の便益に配慮した運営を心がけ、周辺地域が活性化するように貢献する。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-1 (7)	スポーツイベントの推進	担当課
概要	湯河原温泉オレンジマラソンのような湯河原らしさを活かした宿泊を伴うスポーツ大会（サッカー・サーフィン・野球・ソフトボール・スローピッチなど）を開催または誘致し、体育施設を利用したスポーツ合宿の誘致など、観光事業者と連携を図りながら町外参加者および宿泊客の増加を図る。	社会教育課 地域政策課 観光課

進捗状況	KPI	スポーツイベント町外参加者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018） 目標値 令和6年度（2024）	2,925 人 3,100 人
	4,000 3,500 3,000 2,500 2,000 1,500 1,000 500 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(人) 目標値(人)			

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	3,500	3,500	1,200	2,000	2,500	3,100
実績値(人)	---	---	---	698	2,156	
目標達成率	---	---	---	35%	86%	
KPI評価	△	△	△	△	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和6年3月31日開催のオレンジマラソンにおいて、2,353人の申込があり、このうち2,156人が町外であった。また、宿泊者についても、138人の利用があった。このほか、ふるさと納税を利用した参加者数が20人となった。
分析 Check	・令和5年度の申込者数は、令和4年度と比較して増加した。これは新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、コース等の規模を縮小して開催していたが、従前どおりの大会に戻したからと考えている。また、宿泊者も前年度に比べ、増加した。
今後の方向性 Action	・大会を運営するにあたり改善の余地は多数あるので、まずは既存の参加者の満足度を向上させるためにアンケート等を検討している。そこから口コミ等で新規参加者を増やせるよう改善していく必要がある。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-1 (8)	スポーツ施設の整備	担当課
概要	湯河原総合運動公園へ弓道場・パークゴルフ場と休憩施設等を整備し、公園全体の利用者の増加や若年層と多世代間の交流を促進させる。併せて、観光産業とのマッチングを図ることにより、交流人口の増加と、地域経済の活性化を図る。	社会教育課 まちづくり課

K P I

大会開催回数

基準値（開始時）
平成30年度（2018）

目標値
令和6年度（2024）

--- 回

3 回

進捗状況

年次	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値(回)	0	3	3	3	3	3
実績値(回)	-	0	0	0	2	-

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(回)	-	3	3	3	3	3
実績値(回)	-	0	0	0	2	-
目標達成率	-	0%	0%	0%	67%	-
KPI評価	-	×	×	×	△	-

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・指定管理者及びパークゴルフ協会の協力によりパークゴルフ大会を2回開催した。 ・弓道人口及び練習・競技場所が限られた種目であることから、指定管理者及び体育協会弓道部が連携し、初心者教室を実施している。
分析 Check	・パークゴルフ大会を実施することで、世代間の交流が促進されと考えている。 ・弓道場の利用者のほとんどが町外の団体利用であったので、施設の利用について周知を図ることで今後も利用件数は伸びると考えている。
今後の方向性 Action	・指定管理者及び町パークゴルフ協会と連携し、定期的に大会を開催することで利用者の増に努める。 ・指定管理者及び体育協会弓道部と連携し、大会の定期開催について検討する。また、初心者教室も年1回の実施なので、定期的な見学会などの入り口を増やすことで、新たな利用者の増に努める。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-2 (1)	湯河原町への移住PR	担当課
概要	神奈川県と合同で実施している東京での移住セミナーだけでなく、実際に町内を見ていただき、地域資源や各種イベントを通じて湯河原町の自然、産業、暮らしなどをPRする。	地域政策課

K P I

移住セミナー等参加者からの移住者数（累計）

基準値（開始時）
平成30年度（2018）

目標値
令和6年度（2024）

1 人

15 人

進捗状況

年度	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
実績値 (人)	1	3	4	7	8	-
目標値 (人)	4	4	4	8	12	15

実績値 (人)

目標値 (人)

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値 (人)	4	4	4	8	12	15
実績値 (人)	1	3	4	7	8	
目標達成率	25%	75%	100%	88%	67%	
KPI評価	△	○	○	○	○	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・役場での相談件数 37件（R4年度 40件） ・神奈川県主催の移住セミナー（オンライン開催）に1回参加し、町PRを実施した。 ・窓口、電話、メールなどで、移住相談を随時受け付け、移住情報冊子などを積極的に配布した。 ・移住サポーター同士の顔合わせ会を行った。 ・「暮らし体験ツアー」や個別移住案内などを実践することができた。
分析 Check	・移住相談窓口を役場だけでなく、立地上、気軽に足を運ぶことができる駅前に交流拠点を設置することで、移住相談の増加につながった。 ・移住促進委託団体や移住サポーターとの移住相談が可能となったことで、行政として対応できない部分もカバーすることができ、相談者のニーズに寄り添うことができた。
今後の方向性 Action	・「暮らし体験ツアー」などのイベントを年間通じて実施し、物件紹介や先輩移住者との交流など参加希望者のニーズが高いメニューを検討するとともに移住サポーターの参画活動をより深化させ相談体制の拡充を図る。 ・移住イベントや移住サポーターの活動を町内外問わず積極的に情報発信する。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2-2 (2)	かながわ県西空き家バンクポータルサイトの活用	担当課
概要	ポータルサイト「家さが見～かながわ県西うみまち物件ナビ～」への登録を推進するとともに、町ホームページにおいて移住者の感想などを掲載する。	地域政策課

進捗状況	KPI	「家さが見～かながわ県西うみまち物件ナビ～」のアクセス数（月平均）	基準値（開始時） 平成30年度（2018） 目標値 令和6年度（2024）	1,431 件 2,500 件
	3,000 2,500 2,000 1,500 1,000 500 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■ 実績値(人) ◆ 目標値(人)			

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	2,000	2,100	2,200	2,300	2,400	2,500
実績値(人)	1,186	2,029	2,155	1,089	2,318	
目標達成率	59%	97%	98%	47%	97%	
KPI評価	△	◎	○	△	○	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未達、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・空き家の利活用について、関係市町及び宅建協会小田原支部と協議。 ・かながわ県西空き家バンクポータルサイトをリニューアルし、家さが見～県西うみまち物件ナビ～として運用を開始した。 ・新ポータルサイトに係る愛称及びロゴの公募を実施した。
分析 Check	・関係市町及び宅建協会小田原支部と連携し取り組むことで効果的な施策を展開する必要がある。 ・空き家の所有者に対し空き家バンクポータルサイトへの物件掲載を促す。
今後の方向性 Action	・家さが見～県西うみまち物件ナビ～のコンテンツを充実させ、利用者の利便性の向上を図る。 ・物件登録数を増やす方策を検討する。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-2 (3)	お試し移住の促進	担当課
概要	民間宿泊施設や空き家を活用した制度の創設について、空き家の管理や利活用を含め検討していく。	地域政策課

進捗状況	KPI	お試し移住体験者の数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	---	人
			目標値 令和6年度（2024）	200	人
	250 200 150 100 50 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(人) 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	200	200	200	200	200	200
実績値(人)	0	0	0	0	0	
目標達成率	0%	0%	0%	0%	0%	
KPI評価	×	×	×	×	×	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・先輩移住者とともに町内の学校や物件、商業施設などを案内する「暮らし体験ツアー」を3回開催した。
分析 Check	・お試し移住を行う意義となる移住後の生活環境や暮らしをイメージしやすくすることについて、「暮らし体験ツアー」の中で実践できた。
今後の方向性 Action	・移住サポーターを含む先輩移住者や移住促進委託団体などとも連携しながら、「暮らし体験ツアー」を深化させた中でのお試し移住のあり方とその枠組みについて研究する。

総合戦略会議 委員意見	移住専任者による、移住者に寄り添った支援の検討。 町が実施したお試し移住の実績はないが、若い人が町の中に若い人が増えている。湯河原のまちづくりにも関わろうという若者たちが伸びていくと良いと思う。
----------------	--

総合評価	△	取組の見直し
------	---	--------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2-2 (4)	休耕地の利活用	担当課
概要	深刻な後継者不足やみかん価格の低迷などにより増加している休耕地を利用し、研修ができる農家の洗い出しや指導農業者の育成をしながら、若い新規就農者やUターン就農者を受け入れ、農業の活性化を図る。また、人・農地プランを活用し、本町の農業の未来を見据えながら農地の集積・集約に努め、新規就農者などを受け入れやすい農地を広めて行く。	農林水産課

進捗状況	KPI	新規就農者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	---	人
			目標値 令和6年度（2024）	5	人

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	-	-	5	5	5	5
実績値(人)	-	-	0	1	2	
目標達成率	-	-	0%	20%	40%	
KPI評価	-	-	○	○	○	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・1名の新規就農者が参入した。
分析 Check	・本町の農地は傾斜地が大半を占め、主要な作目が果樹類のため、就農しても数年たないと収益を得ることができないため、新規就農者が参入しづらい。
今後の方向性 Action	・農地の集積・集約化を進め、市場性の高い農産物を作る農業者の育成や指導農業者の育成を図りながら、新規就農者やUターン就農者の支援を行う。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-2 (5)	移住・定住者への補助	担当課
概要	空き家所有者や不動産会社、金融機関と協議・連携しながら、移住者向けの低金利ローンを検討する。	地域政策課

進捗状況	KPI	制度利用者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	---	人
			目標値 令和6年度（2024）	50	人
	実績値(人) 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	70	50	50	50	50	50
実績値(人)	---	0	0	1	1	
目標達成率	---	0%	0%	2%	2%	
KPI評価	×	×	×	△	×	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・町内に支店がある金融機関（2行）と協力し、移住相談から移住者向けローンへの仕組みを構築した。
分析 Check	・金融機関との連携については構築することができたが、実際の利用実績が少ない。町としても周知する機会がなく、検討が必要である。
今後の方向性 Action	・利用者の増加を促すために、有効的な周知方法を検討する。 ・駅前交流拠点委託団体や移住サポーターと協力し、移住相談者のサポートを進めていきながら、制度を周知していく。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-3 (1)	湯河原温泉公式ホームページの活用	担当課
概要	湯河原町・商工会・観光協会・旅館協同組合が共同で立ち上げた湯河原温泉公式ホームページを活用し、宿泊施設だけでなく、総合的な観光ホームページとして掲載内容を充実させる。	観光課

進捗状況	KPI	アクセス件数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	47,876 件
			目標値 令和6年度(2024)	60,000 件
	80,000 70,000 60,000 50,000 40,000 30,000 20,000 10,000 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■実績値(件) ◆目標値(件)			

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(件)	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
実績値(件)	58,915	57,479	55,435	70,916	70,911	
目標達成率	98%	96%	92%	118%	118%	
KPI評価	○	△	△	◎	◎	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・湯河原温泉公式ホームページに町や各団体の情報を集約させ、観光客目線で情報が取得しやすい環境を維持する。
分析 Check	・ホームページへのアクセスが多い時期は8月(やっさ・花火・お盆休み)、2～3月(梅の宴)とイベントや宿泊ニーズの高いシーズンと比例している。
今後の方向性 Action	・引き続き、湯河原温泉公式ホームページに町や各団体の情報を集約させ、観光客目線で情報が取得しやすい環境を維持する。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-3 (2)	合宿等の誘致に向けた情報発信	担当課
概要	地方創生における湯河原町の観光や農林水産分野の取組みについて、大学に情報提供し、ゼミ合宿の誘致を図る。	地域政策課 観光課 農林水産課

進捗状況	KPI	誘致による合宿実施数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	---	件
			目標値 令和6年度(2024)	3	件
	実績値(件) 目標値(件)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(件)	3	3	3	3	3	3
実績値(件)	0	0	0	0	0	
目標達成率	0%	0%	0%	0%	0%	
KPI評価	×	×	×	×	×	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・ 未実施
分析 Check	・ 各分野の組合との検討を行う必要がある。 ・ コロナ禍により大学の講義の受け方やゼミ合宿の実施方法が変化している。
今後の方向性 Action	・ ゼミ合宿の誘致に向け、各分野の組合とツアーのメニューなどを検討する。 ・ 旅館などの宿泊施設との連携を構築した後、大学等に情報発信をしていく。

総合戦略会議 委員意見	うまくいっている成功事例を集め、事業者の説明し、協力を促してはどうか。 反映されていないが相当数の実績があるのでは。ゼミ合宿で来た方へ、町内施設の使い方のPRがうまくできると良いと思う。
----------------	--

総合評価	△	取組の見直し
------	---	--------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 2 2-3 (3)	多様な媒体による情報発信	担当課
概要	町ホームページをベースに、LINEなど幅広い世代が利用するSNS（ソーシャルネットワーク）を活用するなど、新たな周知方法を検討する。また、駅前LED広告や広報紙の配架方法などを検討し、多様な媒体による情報発信を行う。	秘書広報室 観光課 デジタル推進室

進捗状況	KPI	SNS登録者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	---	人
			目標値 令和6年度（2024）	3,000	人
	3,500 3,000 2,500 2,000 1,500 1,000 500 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■実績値(人) ◆目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	-	-	1,500	2,000	2,500	3,000
実績値(人)	-	-	669	1,452	2,552	
目標達成率	-	-	45%	73%	102%	
KPI評価	-	-	△	△	◎	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・「広報ゆがわら」（新聞折込や町内54か所に配架）や、コミュニティラジオ（（株）エフエム熱海湯河原へ委託）、データ放送（（株）テレビ神奈川（tvk・3ch））による情報発信を、令和4年度同様に実施。 ・湯河原町公式LINEの「お友だち登録」の呼びかけを、転入者向け封筒に印刷しているほか、役場内各窓口へのチラシの掲示、町民カレンダー広告枠や、広報の表紙を活用して実施。 ・（株）エフエム熱海湯河原が活用するラジオアプリ「レディモ」のシステム連携により、熱海・湯河原エリアのメルマガを選択してプッシュ通知方式により配信。（令和4年10月より開始）
分析 Check	・湯河原町公式LINEの「お友だち登録」の呼びかけを、転入者へ案内しているほか、役場内各窓口へのチラシの掲示や、町民カレンダー広告枠や、広報の表紙を活用する、いわゆるプッシュ型のアプローチを強く推進したため、広く町民の目につきやすくなり、目標値を達成したと考える。
今後の方向性 Action	・生活様式が多様化する中で、広報ゆがわらの発行部数や配架方法について引き続き検討するとともに、DX推進の状況に合わせ、今後の広報紙のあり方について研究していく必要がある。 ・全ての媒体で同一の情報が得られるように情報発信をしていくよう各課と調整を行い、情報の取得方法について町民等へ周知をしていく。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 3 3-1 (1)	結婚祝い金の支給	担当課
概要	湯河原町に住所を有する男女の結婚を奨励祝福し結婚祝い金を支給することにより、結婚に伴う経済的負担を軽減し、湯河原町への定着化を図り、少子化対策を推進する。	住民課

進捗状況	KPI	結婚祝い金支給件数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	4件
			目標値 令和6年度(2024)	15件

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(件)	5	5	6	9	12	15
実績値(件)	4	3	6	5	8	
目標達成率	80%	60%	100%	56%	67%	
KPI評価	○	△	◎	○	○	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・支給件数8件 ・窓口において、パンフレットの配布と制度の説明を行っている。 ・町のホームページ、広報ゆがわら、地方紙を活用し、制度の案内を行っている。 ・町内の不動産業者に制度の説明及びパンフレットとポスターの配布を行っている。
分析 Check	・令和5年度から、世帯所得額を400万円未滿から500万円未滿に引き上げたが、夫婦共働きの場合は所得要件で非該当となる場合がある。若い世代では、親と同居のため家の購入や賃貸住宅の契約がない事もあり、引越費用についても業者に依頼しないで自分達で行うなど、支給要件に該当しないことが多い。
今後の方向性 Action	・令和6年度から連携コースへ移行し、国の補助金(補助率2/3)、県の補助金(補助率1/6)を活用し、今後も実施する。 ・引き続き事業を広報するために、さまざまな周知方法を検討する。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 3 3-2 (1)	安心して子どもを産める環境の整備	担当課
概要	町内への産科医誘致、広域での充実など、あらゆる方策を検討し、若い世代が安心して妊娠、出産と子育てができる環境づくりに努め、結婚世代の定住促進と出生率の向上を図る。	保健センター 消防本部

進捗状況	KPI	マタニティサポート登録数／母子手帳発行数（里帰り登録含む）	基準値（開始時） 平成30年度（2018） 目標値 令和6年度（2024）	77 % 80 %
	100 80 60 40 20 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(%) 目標値(%)			
	※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未達、×進捗なしor事業終了			

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(%)	80	80	80	80	80	80
実績値(%)	88	85	83	77	71	
目標達成率	110%	106%	104%	96%	89%	
KPI評価	◎	○	◎	○	○	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未達、×進捗なしor事業終了

実績 Do	<妊娠届出数とマタニティサポート登録者数の推移> ・妊娠届出数 令和3年：84件 令和4年：69件 令和5年：75件 ・マタニティサポート登録者数 令和3年：75件 令和4年：62件 令和5年：66件 ・搬送数 令和3年：20件 令和4年：19件 令和5年：16件
分析 Check	・他県市町で里帰り出産を希望する妊婦が多かったこと、兄弟が救急車に同乗できないため病院まで家族に送ってもらうという理由で登録を希望しない妊婦もいた。
今後の方向性 Action	・母子手帳交付の面談時にマタニティサポートについて説明し登録を促していく。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 3 3-2 (2)	妊娠、出産への支援体制	担当課
概要	妊産婦やその家族が安心して出産、育児に向かうことができるよう教室や訪問等による支援体制の充実を図る。	保健センター こども支援課

進捗状況	KPI	1人あたり妊産婦・乳幼児訪問回数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	2.4回
			目標値 令和6年度(2024)	4.5回
進捗状況 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(%) 目標値(%)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(%)	2.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
実績値(%)	2.1	4.9	4.7	5.9	3.4	
目標達成率	88%	109%	104%	131%	76%	
KPI評価	○	○	○	◎	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	- 妊婦訪問実績 令和3年：85件 令和4年：71件 令和5年：61件 - ウェルカムベビー教室 令和3年：実16名 延39件 令和4年：実22名 延40件 令和5年：実26名 延50件 - こんにちは赤ちゃん訪問 令和3年：実91件 延141件 令和4年：実80件 延131件 令和5年：実68件 延118件 - 子育て支援センター業務実績(令和5年度実績) 心理相談 21件、子育て相談 228件、赤ちゃんタイム 46人、おはなし会 83人
分析 Check	- 妊婦訪問について、妊婦訪問前の転出や流産により訪問が不要になったことで、訪問数が減少した。 - ウェルカムベビー教室について、母子手帳交付時に教室の案内をしたこと、家族の妊婦体験の周知がされたことで父親の参加率が高かった。 - こんにちは赤ちゃん訪問について、令和4年度は1件あたり1.6回の訪問だったが、令和5年度は1.7回と微増した。全体の訪問回数が減った要因は保健師の数の減少によるものである。 - 育児不安や子育てにストレスを感じる母親への支援を行うため、子育てに関する相談、指導、情報提供を実施する。
今後の方向性 Action	- 精神疾患の既往を持つ妊産婦が増えている。産前産後は精神的に不安定になりやすいため、対象に合わせて訪問回数を調整していく。 - 今後も講座等を開催し、母親へ支援を継続して行っていく。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 3 3-2 (3)	切れ目のない財政支援	担当課
概要	妊娠、出産、子育てに係る経済的負担を軽減するための支援を強化する。	こども支援課 保健センター 学校教育課

進捗状況	KPI	子育て支援紙おむつ等の支給率	実施値 令和2年度(2020)	100%
			目標値 令和6年度(2024)	100%
120 100 80 60 40 20 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■ 実績値(%) ◆ 目標値(%)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(%)	-	100	100	100	100	100
実績値(%)	-	100	100	100	100	
目標達成率	-	100%	100%	100%	100%	
KPI評価	-	○	○	○	○	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・特定不妊治療費助成 令和3年度：12件 令和4年度：9件 ・不育症治療費助成 令和3年度：1件 令和4年度：0件 令和5年度：0件 ・新入学祝金実績 令和5年度新小学一年生 99件 新中学一年生 162件 令和6年度新小学一年生 83件 新中学一年生 163件 ・子育て支援紙おむつ等支援事業 令和2年度：64件 令和3年度：86件 令和4年度：76件 令和5年度：66件 ※令和5年度10月から限度額を5,000円から7,000円に引き上げ ・令和5年度10月から高校生通学定期券購入費補助事業開始 372件
分析 Check	・令和4年度より、体外受精などの基本的な不妊治療費は全て保険適用となった。 ・子育て応援の一環として、義務教育年限内における新入学児童・生徒に対し、入学をお祝いするとともに、健やかな育成を支援する。 ・乳児を養育する家庭へ宅配によるオムツ等を支給することにより、子育てしやすい環境づくりに向けて、子育て世帯の経済的負担軽減を図るとともに、安心して子どもを産み育て、次世代を担う子どもの健やかな成長を町全体で応援することを目的とするもので、継続して実施する必要がある。 ・湯河原町から公共交通機関を利用して高等学校等へ通学されている方の通学定期券購入にかかる費用の一部、児童一人につき、年間20,000円を助成し、高校生世帯の経済的負担の軽減を図ることを目的とし、通学費用を理由に希望する学びを諦めることがないように継続して実施していく必要がある。
今後の方向性 Action	・制度の周知に努めながら、継続して実施していく。 ・利用者のニーズに対応し、安定して助成事業となるよう実施する。 ・今後も継続して制度の周知に努める。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 3 3-3 (1)	ファミリーサポートセンターの活用促進	担当課
概要	子育て中の家庭を地域で応援していくため、育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人とがお互いに助け合う、子育ての相互援助活動を推進する。	こども支援課

進捗状況

K P I	年間活動件数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	702 件
		目標値 令和 6 年度（2024）	657 件

年度	実績値(件)	目標値(件)
(2019) 令和元年度	887	-
(2020) 令和2年度	409	837
(2021) 令和3年度	293	782
(2022) 令和4年度	724	728
(2023) 令和5年度	866	701
(2024) 令和6年度	-	657

■ 実績値(件) ◆ 目標値(件)

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(件)	-	837	782	728	701	657
実績値(件)	887	409	293	724	866	
目標達成率	-	49%	37%	99%	124%	
KPI評価	-	○	◎	○	◎	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	会員数 ファミリー会員：128人 サポート会員：85人 合計213人 活動件数：866件
分析 Check	・保育園、学童保育等の送迎や習い事の送迎、学校行事や冠婚葬祭などの預かり、産前産後の家事支援や沐浴の手伝いなど、子育ての相互援助活動を実施する。 ・令和4年度から援助対象を小学校6年生までから中学校3年生までに拡大(中学生の援助は送迎のみ)
今後の方向性 Action	子育てを取り巻く環境にあわせ、利用者ニーズの把握に努める。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 3 3-3 (2)	利用しやすい保育所の運営	担当課
概要	核家族や夫婦共働きの家族が増加している中で、安心して子どもを預けることのできる保育所として預かり時間の延長や一時保育、0歳児の受入を実施し、保護者が仕事を辞めずに育児ができるよう支援する。	こども支援課

進捗状況	KPI	保育所入所待機児童数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	0人
			目標値 令和6年度(2024)	0人
実績値(人) 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)		0	0	0	0	0
実績値(人)	0	0	0	0	0	
目標達成率		100%	100%	100%	100%	
KPI評価		○	○	○	○	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	入園調整の結果、待機児童0を継続した。
分析 Check	保護者の就労状況、兄弟姉妹在園の有無、園との距離、学区及び送迎の状況など勘案し、応募状況に合わせたクラス編成をするなどして調整し、入園を決定することができたが、今後も働き方改革に留意する必要がある。
今後の方向性 Action	・利用者の多様なニーズに対応し、安心安全な保育所の運営を実施する。 ・老朽化したみやのうえ保育園の建替を実施する。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 3 3-3 (3)	教育環境の整備	担当課
概要	情報教育の充実や先進的な外国語教育の推進など、小中学校における教育レベルの向上を図り、魅力ある学校づくりを進めるとともに、確かな学力と自ら学び自ら考える「生きる力」を育む教育を推進する。	学校教育課

K P I

小中学校の交流事業数

基準値（開始時）
平成30年度（2018）

2 件

目標値
令和6 年度（2024）

5 件

進捗状況

誤って

6

5

4

3

2

1

0

(2019)

令和元年度

(2020)

令和2年度

(2021)

令和3年度

(2022)

令和4年度

(2023)

令和5年度

(2024)

令和6年度

実績値(件)

目標値(件)

KPI

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(件)	2	2	2	3	3	5
実績値(件)	3	2	3	2	2	
目標達成率	150%	100%	150%	67%	67%	
KPI評価	◎	○	◎	△	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・小中学校間での交流として子どもフォーラムを3回実施し、そのうちの2回で小中学生の交流がもてた。また、夏休みのラジオ体操については、参加の奨励を継続した。 ・令和2年度末よりGIGAスクール構想構築を推進しており、現在、小中学校4校では一人に1台の教育用情報端末(クロムブック)を貸し出し、ICT教育の整備及び推進に取り組んでいる。また、端末を自宅に持ち帰って学習する際に、各家庭の通信環境に左右されないよう、LTE回線(電話回線)を整備している。 ・三原市・湯河原町親善都市子ども交流推進事業として、小学校5・6年生(希望者)が、三原市のイベントに参加するなど交流を行った。
分析 Check	・ICT教育において、各家庭でも授業等を受けられるよう端末の整備をしている。今後も学校との連携を図りながら、それぞれの学校に適した情報機器を整備し、特色ある授業を推進する。
今後の方向性 Action	・外部講師による教育用情報端末の使用方法や、授業での活用方法についての指導・助言を継続実施しながら、ICT教育をより推進するものとする。 ・PTA、地域の方々及び教職員で組織した学校運営協議会の設置を促進し、地域との組織的な連携・協働体制を継続できる体制を構築し運営していく。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 3 3-3 (4)	学童保育所や子ども教室の活用	担当課
概要	保護者が仕事をしながら子育てができるよう、「学童保育所」や「放課後子ども教室」を開設し、放課後の子どもの安全で健やかな活動場所を確保するとともに、異なった年齢集団の中で社会性を身に付け一人ひとりの子どもたちが健全に成長するよう手助けする。	社会教育課

進捗状況	KPI	放課後子ども教室登録児童数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	125人
			目標値 令和6年度(2024)	175人
200 150 100 50 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(件) 目標値(件)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(件)	150	155	160	165	170	175
実績値(件)	150	128	110	122	124	
目標達成率	100%	83%	69%	74%	73%	
KPI評価	○	○	△	△	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・3小学校において、コーディネーター及び活動推進員が中心となり企画を行い、活動サポーターも加わることで見守りを行っている。宿題やドリル学習のほか様々な体験学習に取り組んでいる。今年度は味噌作り教室など新たな体験学習も行った。
分析 Check	・高学年になると減少する傾向にあるが、学習等の取組や体験学習を工夫することで、高学年の参加が増えている教室もある。
今後の方向性 Action	・引き続き、児童の安全・安心な運営を行う必要がある。 ・高学年の児童も参加したくなるような学習や体験学習を織り交ぜることや、様々な地域住民の協力を得ることなど工夫いただくことで、各教室の特色ある取組を検討する必要がある。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標4 4-1(1)	多世代交流による若者の人口減少抑制	担当課
概要	子どもたちの学習支援を目的に、地域の高齢者ボランティアや大学生を講師とした学習支援を実施し、すべての子どもに包括的かつ公平で質の高い学びの場を提供しながら、様々な世代が安心して集える多世代の居場所空間づくりを実施する。	こども支援課 地域政策課 介護課

進捗状況	KPI	「ゆがわらっことつくる多世代の居場所」来所者数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	2,359人
			目標値 令和6年度(2024)	3,000人
進捗状況 3,500 3,000 2,500 2,000 1,500 1,000 500 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(人) 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	-	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
実績値(人)	1,902	1,703	1,259	1,430	2,091	
目標達成率	-	58%	36%	48%	70%	
KPI評価	-	△	△	△	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	講座開催事業・学習サポート事業2,091人
分析 Check	令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響により、室内の利用を縮小して開所していたため、利用者数が減少したが、コロナが5類に移行したことにより、従来通りの開所としたことで、利用者の増加につながった。
今後の方向性 Action	地域の他団体とも協力をしあいながら、町内の多世代が安心して過ごすことができる場の創出をする。 多世代の居場所を立ち上げた頃の小学生が、高校生や大学生になり、居場所の学生スタッフとして戻ってきているので、これからも子どもや若い世代とともに多世代の居場所を育て、来所者数の増加に向けて取り組んでいく。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標4 4-1 (2)	子どもフォーラムの開催	担当課
概要	小学生、中学生、保護者、教職員、地域の方々などの幅広い参加のもと、目標実現のための話し合い活動や交流を深めるためのアクティビティを実施し、「笑顔あふれる最高の楽校（がっこう）」の実現を目指す。	学校教育課

K P I

フォーラム参加者数

基準値（開始時）
平成30年度（2018）

108 人

目標値
令和 6 年度（2024）

200 人

進捗状況

年度	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
実績値 (人)	105	10	12	45	55	-
目標値 (人)	130	130	130	150	180	200

実績値 (人)

目標値 (人)

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値 (人)	130	130	130	150	180	200
実績値 (人)	105	9	11	44	54	
目標達成率	81%	7%	14%	29%	30%	
KPI評価	△	△	△	△	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・子どもフォーラムは、「ゆがわらっこ（湯河原町在住の児童・生徒のこと）」による活動の場を設定することで、小・小の連携や小・中の接続を意識した取組を行うことを目的としている。令和5年度は、防災ロゲイニング、室外アクティビティ、「みんなで出し合ったテーマについて話をしよう」のダイアログを実施した。また、誰もが楽しめるよう工夫されたユニバーサルスポーツ・モルックでは、チームで協力し挑戦することなど、多世代の中で自然に取り組むことができた。 ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しながら2回の開催となったが、令和5年度は、11月に2回、1月に1回の計3回開催することができた。
分析 Check	・令和2年度までは、児童生徒が主体となって活動テーマを決定していたが、令和3年度から事務局で実施内容を決定し、参加者を募る方式をとっている。今後は、コロナ禍以前の状況に戻るよう、児童・生徒が主体となって実施回数や内容の検討をしていく必要がある。
今後の方向性 Action	・「笑顔あふれる最高の“楽校”（平成23年度湯河原町子どもフォーラム宣言）」を実現するため、町として地域住民、事業所及び関係機関に協力を依頼し、「ゆがわらっこ」による活動を推進する。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 4-1 (3)	外国人住民との交流推進	担当課
概要	民間の国際交流団体と連携し、外国籍住民が湯河原町で安心して暮らしていけるような地域づくりと、インバウンド対策としての外国語に対応できる人材の育成等の取り組みを検討・実施する。	地域政策課

進捗状況	KPI	外国人住民数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	326人
			目標値 令和6年度(2024)	400人
進捗状況 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(人) 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	340	350	365	380	390	400
実績値(人)	337	349	350	481	367	
目標達成率	99%	99%	96%	127%	94%	
KPI評価	○	○	○	◎	○	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・外国籍住民相談員13名が所属。 ・令和5年度の外国籍住民相談の実績は0件。 ・外国籍住民との異文化交流・情報の共有の場として実施した「地球民ラウンジ」では、コロナ禍での生活相談や言語翻訳、日本語学習に関する相談などを受け付けた。
分析 Check	・外国籍住民相談だけでなく、民間の国際交流協会と連携することで、気軽に相談することができる環境整備を整えることができた。
今後の方向性 Action	・各相談事業を引き続き実施する。

総合戦略会議 委員意見	少しずつ湯河原に住んでいる方々と共に生きる、共につくるような文化の土台を作っていくことも、行政の方針として考えても良いのではと思う。
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 4-2 (1)	「未病を改善する」取組の推進	担当課
概要	神奈川県と湯河原町を含む県西地域の2市8町で連携し、神奈川県が第1期県西地域活性化プロジェクトに位置づけている「未病を改善する」取組を促進するため、湯河原の恵まれた地域資源を活用し「温泉」「運動」「食事」「自然」「芸術」を取り入れた健康づくりにより、地域の活性化と地域住民の健康寿命の延伸を図る。	地域政策課 保健センター 介護課

進捗状況	KPI	フレイルサポーターの養成数(累計)	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	28人
			目標値 令和6年度(2024)	50人
60 50 40 30 20 10 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■ 実績値(人) ◆ 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	-	-	-	30	40	50
実績値(人)	28	-	-	31	38	
目標達成率	-	-	-	103%	95%	
KPI評価	◎	△	△	◎	○	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和5年度は、フレイルサポーター養成講座を1回(2日間コース)を行い、7名養成し、フレイル予防の普及啓発活動・フレイルチェックの補助を行っている。 県がコーディネートする「健康支援プログラム」を活用し、未病改善に取り組むきっかけとなる事業を計3回55人(6/21 18人、11/30 17人、12/6 20人)に行った。
分析 Check	・フレイルサポーター自身の活動者の年齢も80代が多く活動してきたが、近年の養成講座で、若い方への参加が増えてきている。 ・全国的にフレイル予防の周知がされていることから興味を持ち、参加してくれた。 令和4年度までは、新型コロナウイルス感染拡大のため、未病コーナーを休止していたが、令和5年度から再開した。
今後の方向性 Action	・町民にフレイル予防の重要性を周知し、サポーター活動に参加しやすい環境を作れるように周知・啓発を行う。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標4 4-2 (2)	介護予防サポーターの育成	担当課
概要	多様化する高齢者に対応した医療介護連携の体制や認知症施策の推進、生活支援体制整備などを網羅した地域包括ケアシステムの構築に向けて、町民の理解、協力を得ながら更なる拡充を図る。	介護課

進捗状況	KPI	介護予防サポーター数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	55人
			目標値 令和6年度(2024)	100人
令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(人) 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	62	69	76	83	90	100
実績値(人)	59	76	104	75	200	
目標達成率	95%	110%	137%	90%	222%	
KPI評価	△	◎	◎	△	◎	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・認知症サポーター養成講座(年4回)、介護予防サポーター養成講座(全3回) ・認知症サポーター養成講座においては、令和5年度新たに湯河原中学校において、中学三年生を対象に「認知症の知識を学ぶ」授業として、「認知症サポーター養成講座」を開催した。
分析 Check	・学校教育の一環として継続的に実施していくことで、若い世代から認知症に対する意識の醸成を図り、認知症に関する知識と理解を深めることができた。 ・介護予防、生活支援、通いの場サポーター等のフォローアップとして、認知症サポーターのステップアップ講座を合同に開催し、知識を共有、グループワークを行うことで各サポーター同士の意欲向上につなげた。
今後の方向性 Action	・小中学生に対する認知症教育の実施に向け調整・検討を行う。 ・引き続き、認知症の方やその家族を温かく見守る理解者・応援者として認知症サポーターを養成する。 ・住民主体によるサービスが継続して実施できるよう、サポーターのフォローアップ講座や介護予防サポーター養成講座を実施し、サポーター活動を支援していく。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標4 4-2(3)	趣味、サークル活動の推進	担当課
概要	高齢者を対象とした健康・介護予防教室の開催、趣味・サークル団体の案内などを充実させ、併せて、障がい者のサークル活動やボランティア活動の周知を行い、社会参加を促すことで生きがいの創出へつなげる。	介護課 社会福祉課

進捗状況	KPI	高齢者を対象とした活動の参加者数（年間累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018） 目標値 令和6年度（2024）	4,919人 6,000人
	7,000 6,000 5,000 4,000 3,000 2,000 1,000 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(人) 目標値(人)			

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	5,099	5,279	5,459	5,639	5,819	6,000
実績値(人)	3,083	370	1,286	2,039	2,043	
目標達成率	60%	7%	24%	36%	35%	
KPI評価	△	△	△	△	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・手話奉仕員養成講座（入門課程）を開催し、手話に対する知識や理解を深めるとともに、講座の中において、手話サークルや各種福祉ボランティア等に関する情報提供を行った。 ※手話奉仕員養成講座参加者（令和5年度：25人、令和4年度：15名、令和3年度：21名） グループリビング（延604人）、布ぞうり教室（延260人）、手づくりを楽しもう会（延181人）、公園体操（延376人）、頭の体操教室（iPad）（延70人）、頭の体操教室（もの忘れ予防）（延77人）げんき応援教室（延201人）、お口の健康教室（13人）、転倒予防教室（延38人）、ふれあい料理教室（6人）、かんたんスマホ教室（149人）、フレイルチェック（延29人）、人生これからだ！いがく（延190人）、介護予防のための「元気なあしたへ」講座（延30人）を開催した。
分析 Check	・引き続き、手話奉仕員養成講座（入門課程）を開催するとともに、福祉に関連するサークルやボランティア活動に関する情報の共有を図っていく必要がある。 ・定員に満たない教室があったため、地方紙を活用、参加者の確保につながった。参加者が途切れることのないよう教室開催時に次の予防講座を周知した結果、継続して参加する方もいた。参加者を男女別にみると、女性の参加が多く、男性の参加が少なかった。 ・開催を見合わせている教室（老人クラブ体操、区会体操）は実施に向け検討したもの、代替地や交通手段の確保が困難で未開催となった。
今後の方向性 Action	・町主催の講座や「ゆがわら趣味百選」、サークルから発信される情報などを活用し、様々なサークル、ボランティアの活動への参加を促す。 ・引き続き、介護予防教室の参加者増加のため、広報・地方紙・地方メディアの取材等で周知を図る。また、男性の参加者が増加となるよう内容を検討する。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標4 4-2(4)	シルバー人材センターの活用	担当課
概要	これまで培ってきた知識や経験などを活かせる場の提供や、シルバー人材センターを広く周知することで、社会の担い手として活躍できる機会を確保・提供する。	介護課

進捗状況	KPI	シルバー人材センター会員数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	151人
			目標値 令和6年度(2024)	180人
実績値(人) 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	156	161	166	171	176	180
実績値(人)	157	133	141	141	132	
目標達成率	101%	83%	85%	82%	75%	
KPI評価	◎	△	△	△	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・就業の拡大はならず、受託件数、就業延人員は減少だった。
分析 Check	・就業会員の高齢化が進んでおり、新たな人材の確保・育成が課題となっている。 ・継続して生活支援サービス(訪問型サービスB)の提供ができるよう生活支援サービスに携わる会員をフォローアップする必要がある。
今後の方向性 Action	・生活支援サービス(訪問型サービスB)の提供のために引き続き研修を実施する。 ・社会の担い手として活躍できる機会を検討する。 ・シルバー人材センターの周知のため引き続き広報へ掲載し、シルバー人材センターのチラシを配架するなど、町民の目に触れる機会を増やすようにする。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標4 4-2 (5)	交通不便地域の解消	担当課
概要	町内の公共交通不便地域の解消を図るとともに民間の交通事業者の運転手不足によるバスの減便や経路縮小に対応するため、コミュニティバスや予約型乗合い交通「ゆたぼん号」を運行し、利用促進を図ることで高齢者などの交通弱者を含め多くの方が気軽に、安全にお出かけできる社会を実現する。	地域政策課 介護課 社会福祉課

進捗状況	KPI	「ゆたぼん号」利用者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	1,493 人
			目標値 令和6年度（2024）	4,000 人
25,000 20,000 15,000 10,000 5,000 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 実績値(人) 目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	20,000	20,000	20,000	4,000	4,000	4,000
実績値(人)	3,228	2,998	3,465	4,421	4,525	
目標達成率	16%	15%	17%	111%	113%	
KPI評価	○	○	○	◎	◎	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	- 令和5年度は、243日運行し、2,228便で4,525人の利用があった。 - 住宅重度障がい者等に買い物等の外出に利用できる福祉タクシー券を交付した。また、令和元年度から、福祉タクシー券で予約型乗合交通（ゆたぼん号）の利用を可能とし、障がい者等への利便性の向上を図った。（令和5年度：0件、令和4年度：0件、令和3年度：9件、令和2年度：8件） - 障がい福祉サービス（身体介護、家事援助）の活用により、通院等介助、買い物代行支援及び買い物同行支援を行った。（令和5年度：284件、令和4年度：216件、令和3年度：270件）
分析 Check	- 乗車密度は目標1.5人に対して2.03人と達成できたが、稼働率は目標40%（前年度まで目標30%）に対して32.7%と、未達成となった。 - エリア別の利用者実績は、オレンジラインが86.0%、次いで温泉場エリアが9.6%、福浦エリアが4.2%、鍛冶屋エリアが0.2%と、地域により利用の偏りがかなり生じている。 - 福祉タクシー券の利用や障がい福祉サービス（身体介護、家事援助）の活用により、障がい者等の通院、買い物等の外出支援に対する利便性の向上が図られる。
今後の方向性 Action	- 利用者は口コミ等により増加傾向にあるが、事業をより成熟させていくよう、乗車場所や運行時間の見直しなど利便性の向上やニーズの把握に努め、関係団体にも協力をいただきながら、事業内容を推進する。 - 令和6年度から土曜日運行を開始することや、福祉タクシー券の利用が可能であることを効果的に周知し、利用者数の向上を図る。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標 4 4-3 (1)	地域会館を活用した遊びと学びの場づくり	担当課
概要	地域会館などの既存の建物を活用し、日を限定して屋内の遊びと学びの場として提供する。	社会教育課 社会福祉課

進捗状況	KPI	施設利用者数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	--- 人
			目標値 令和6年度(2024)	100 人
進捗状況 200 150 100 50 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■ 実績値(人) ◆ 目標値(人) KPI				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	—	—	100	100	100	100
実績値(人)	—	—	136	60	167	
目標達成率	—	—	136%	60%	167%	
KPI評価	×	×	◎	△	◎	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・すでに一部の会館ではサロンとして主に高齢者が、囲碁・カラオケ等の利用により、コミュニケーションを図る場として活用されている。 ・各小学校区にある会館(門川会館、文化福社会館、川堀会館)を活用し、地域住民の協力のもと、子ども向け、一般向けの講座等を開催している。
分析 Check	・地域福社会館の開放に当たっては、区会や一般利用の貸出との調整、開放可能な部屋等の選定、利用に係る安全管理体制の確保などについて、検討が必要である。
今後の方向性 Action	・地域会館が遊び場として開放しての利用が可能かどうか検討を行う。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和5年度 総合戦略プラン事業検証シート

基本目標4 4-3(2)	地域防災力の強化	担当課
概要	地域防災の中心的な役割を果たす自治会の自主防災組織の取組みを支援するとともに湯河原町消防団の充実を図り、町民の防災意識の啓発や地域防災力の向上を図る。	地域政策課 消防本部

進捗状況	KPI	総合防災訓練参加者数	基準値(開始時) 平成30年度(2018)	1,599人
			目標値 令和6年度(2024)	2,000人
2,500 2,000 1,500 1,000 500 0 (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 ■実績値(人) ◆目標値(人)				

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
目標値(人)	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000
実績値(人)	1,599	671	-	1,056	1,139	
目標達成率	106%	41%	-	58%	60%	
KPI評価	◎	△	△	△	△	

※KPI評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未滿、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・総合防災訓練をコロナ禍前の訓練実施状況と同様に実施した。 ・各区に対し、地区備蓄防災資機材負担金を整備した。 ・各区及び消防団に訓練を委託し、委託に係る経費を配分した。 ・消防団員の処遇改善として、年額報酬及び出勤報酬の引上げを行った。 ・現状の消防団員数に見合った定員への見直しを図った。 ・新型コロナウイルス感染症対策として、各分団に消毒液及びマスクの支給を行った。 ・各分団からの要望に基づく活動用資器材の支給及び雨衣の個人支給を行った。 ・消防団協力事業所に対し、協力事業所表示証の交付を行った。
分析 Check	・町民の防災意識の向上を図るため、自主防災組織等と連携し、訓練参加者数の増加を図る必要がある。 ・団員数の維持、増加のために、現消防団員から活動内容についての実態を把握し、入団に至るまでの課題や入団後に退団を意識する要因となる部分の解消をする必要がある。
今後の方向性 Action	・総合防災訓練への参加意欲を高める施策を検討する。 ・被服や活動用資器材、車両の整備及び消防団詰所の改修などを計画的に実施する中で、消防団活動における環境改善を図っていく。 ・消防団活動に理解・協力してもらえる事業所数の拡大を図っていく。

総合戦略会議 委員意見	
----------------	--

総合評価	○	取組の継続
------	---	-------

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合